



## 畳の歴史

# 【A君の話】

畳について調べてみたんだけど、実は奈良時代から日本の住宅にあるらしいよ。

昔は一部の階級の人しか使用できなかったんだって。

最近では畳の生産量も減っているみたいだから、残念だなあ。

でも現代に合わせた畳もあるらしいよ。



A君

# 畳が日本で使われるようになったのは？



## ▶ 【奈良】時代

たたみ・・・  
たたみ、  
かさねる、  
敷物の総称

# たたみの歴史

## 【奈良時代】

### 御床



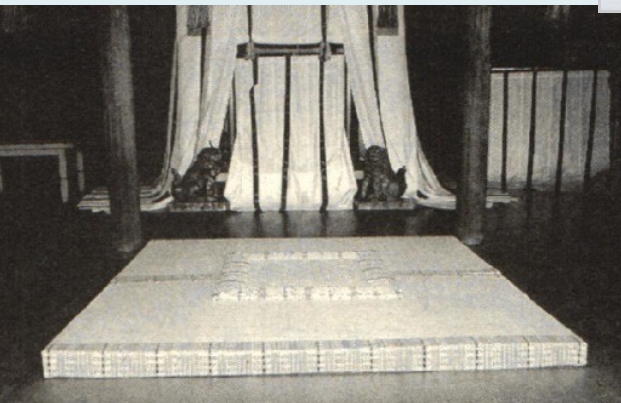
イグサを編んで、ゴザのような敷物。厚みはなく、御床の上に敷き、現在でいうベッドとして活用

## 【平安時代】



板敷きの部屋の一部に畳を置いて活用

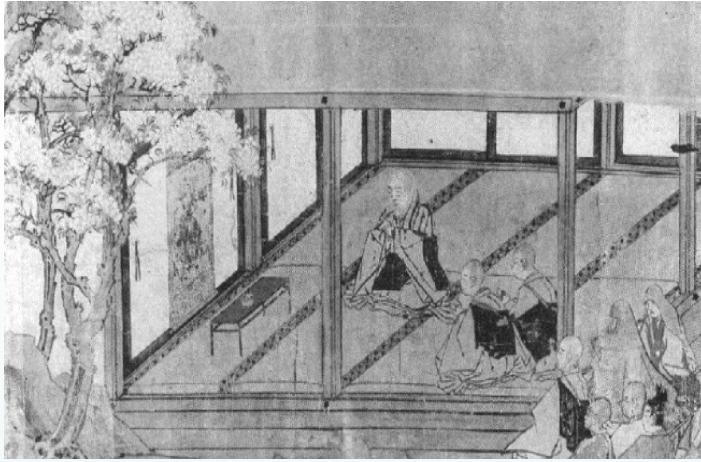
権力の象徴





# たたみの歴史

## 【鎌倉時代・室町時代】

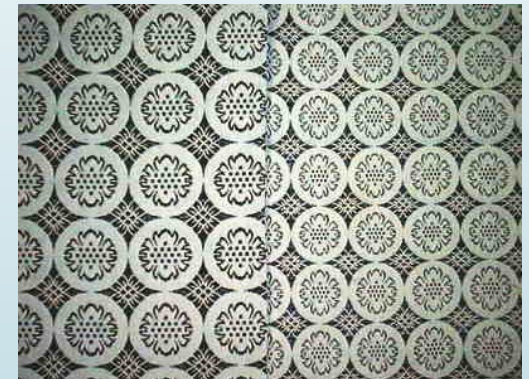
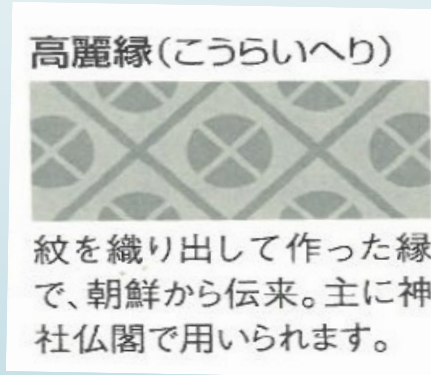
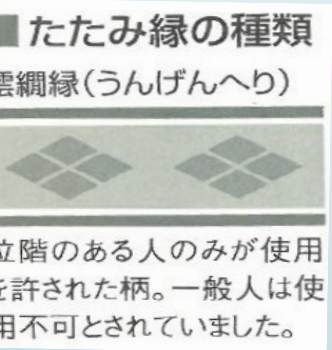


儀式・お客をもてなす空間として和室が登場



平安時代とは異なり、部屋全体に畳を敷いて生活するように。

↓ 下の畳縁は当時位階の高い人のみ使用していた  
天皇・三皇他 親王・大臣





# たたみの歴史

## 江戸時代の庶民の住宅（右図）



## 【江戸時代】

### 畳職人

庶民の生活にも畳が取り入れられるようになり、畳職人という職業も確立

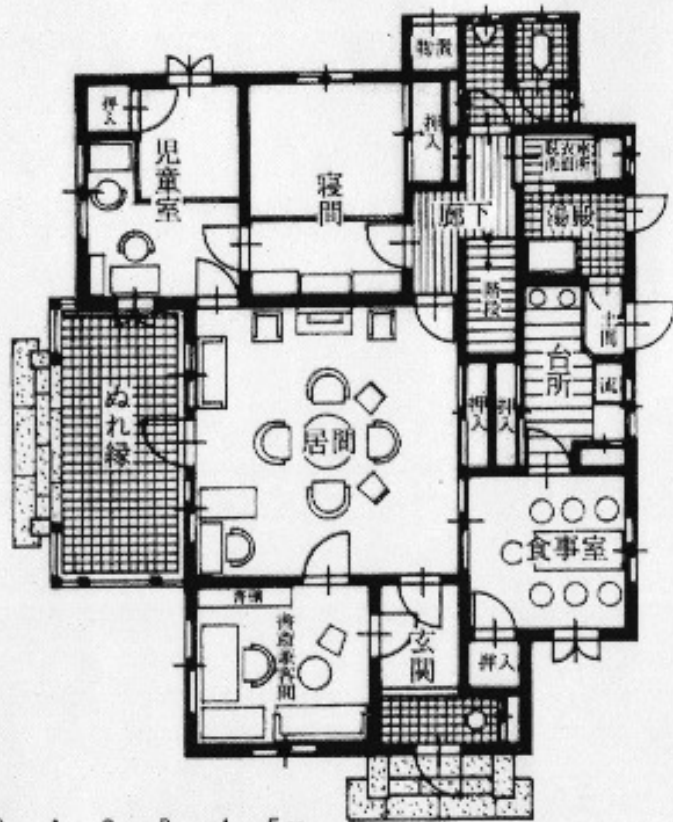
当時は家を引っ越す時は畳も持っていった



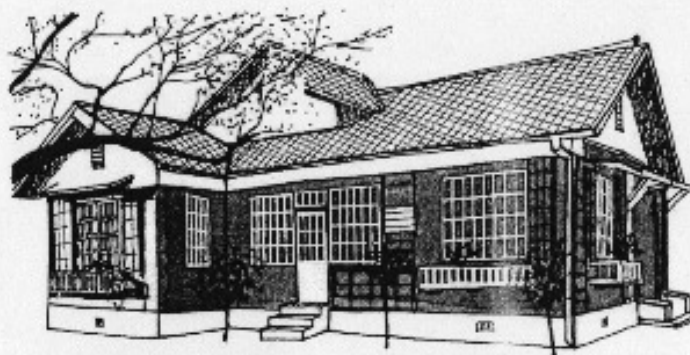
### 畳奉行

江戸政府の役職の一つ。江戸城内の座敷や役所の畳を管理し、畳づくりや畳表替えの役目を受け持つ

# たたみの歴史



洋式の住まい方が普及し始め、  
畳の上に椅子等を置いて使用  
する和洋折衷の暮らしが広がる。



明治・大正・昭和初期

洋室と和室が【混在】する家の増加



# たたみの歴史

## 【昭和時代：戦後～】

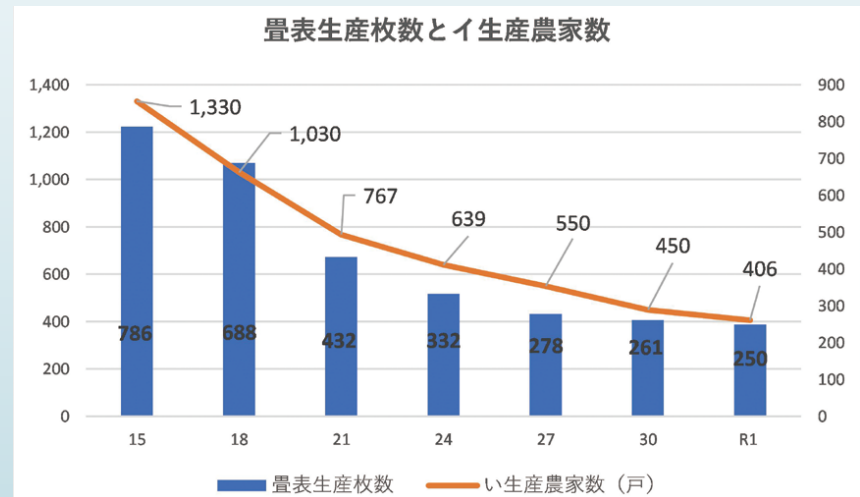
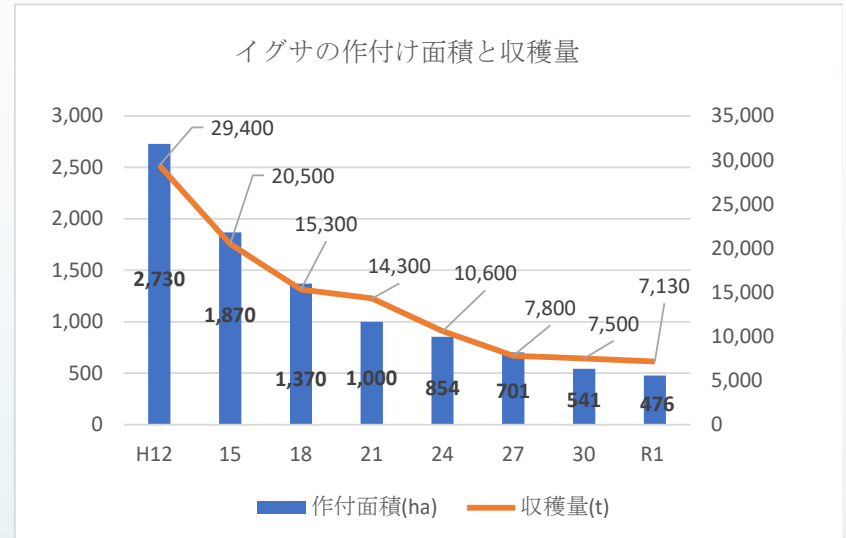


## 戦後の団地の和室

戦後の復興の中で戸建て住宅や団地などの集合住宅の中に和室を持つ家が増加。

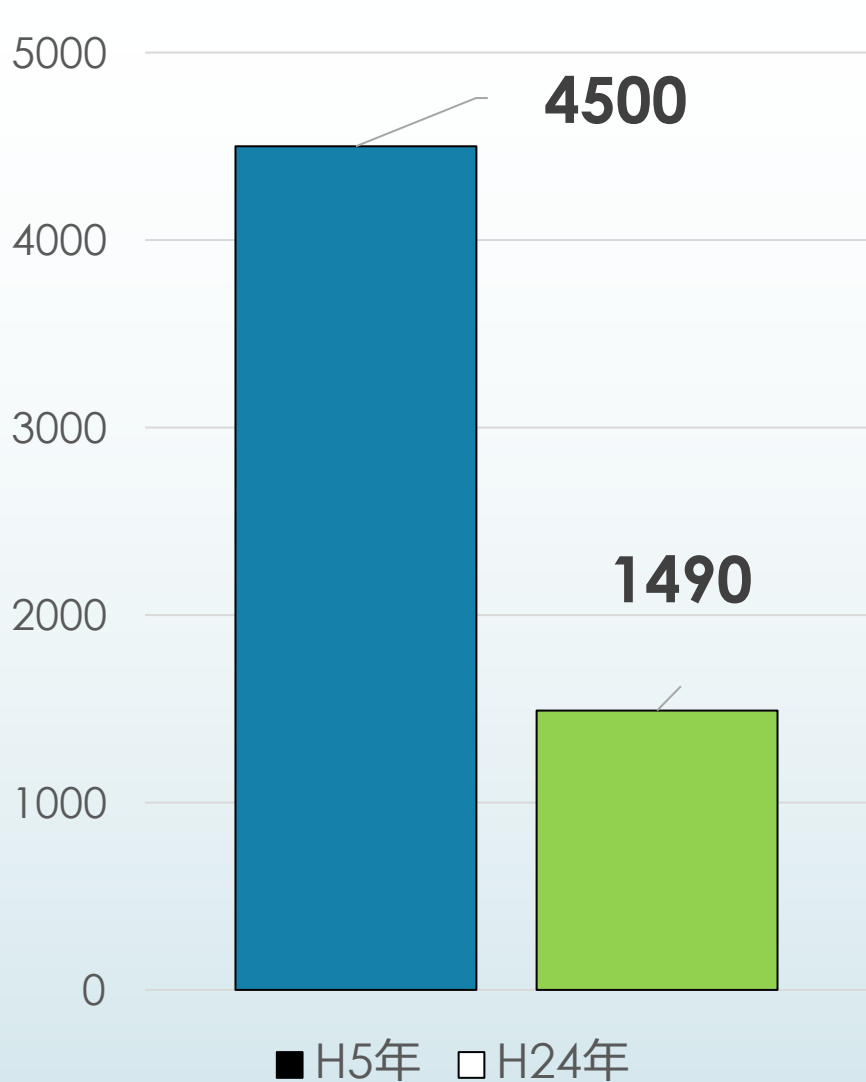
## 【平成時代～】

集合住宅の増加により、畳需要が低下。

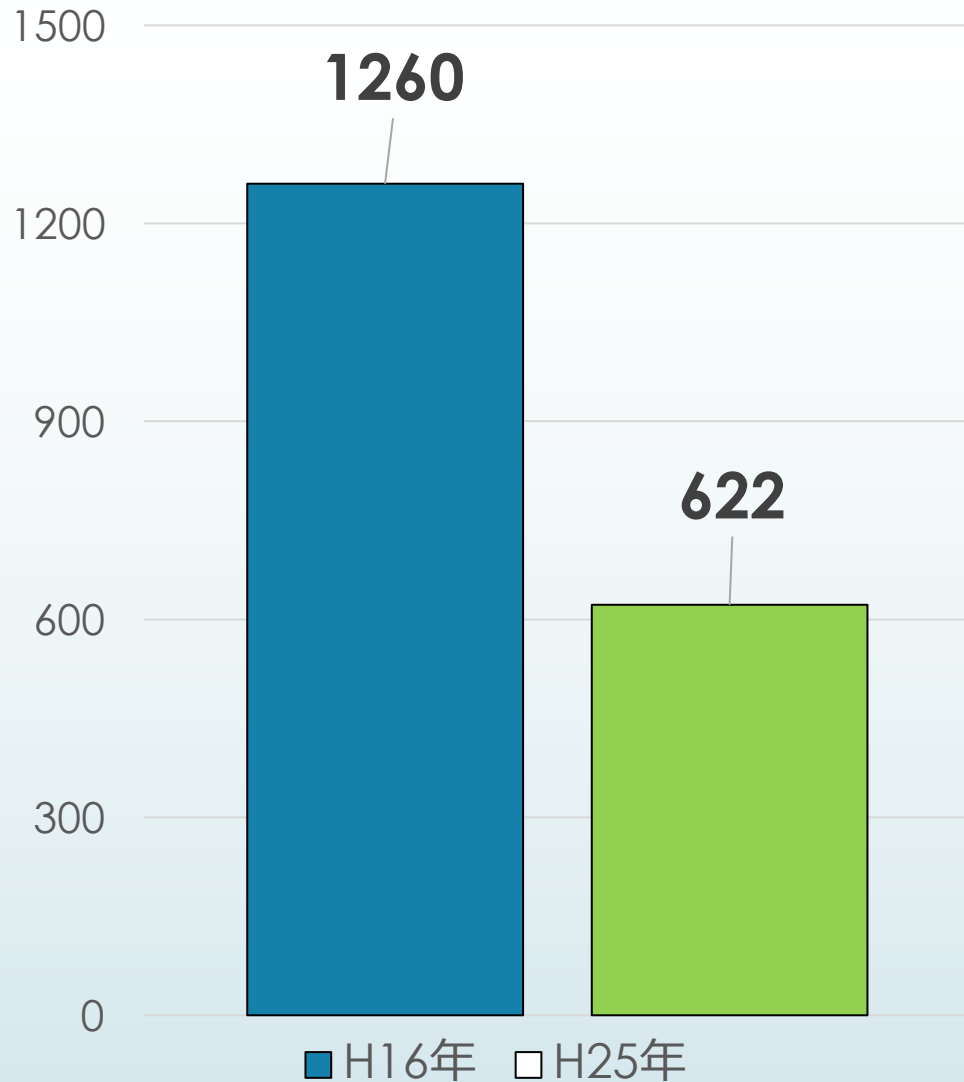




## 国内の畳表の需要量



## 国内のイグサ生産農家



現在、**外国産イグサが【約8割】**

# 新しい畳・イグサの可能性



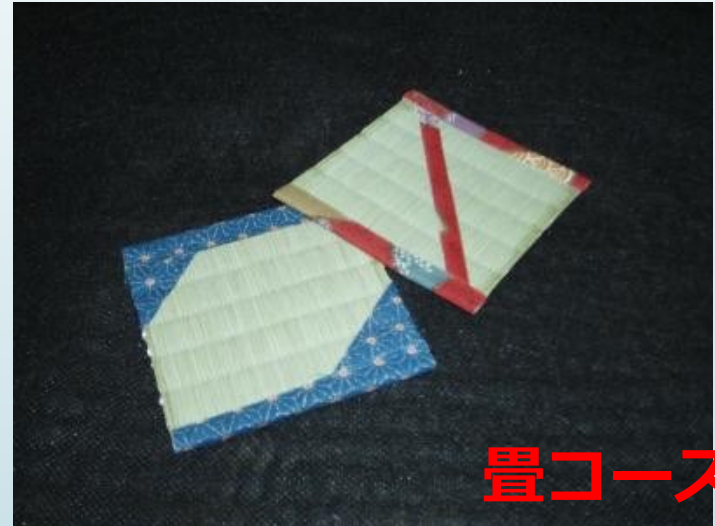
洗える畳



和紙で作った色畳



畳表でつくった  
楽器



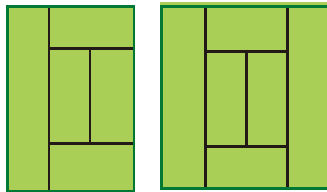
畳コースター

# 畳のイロイロ

## 〇畳のイロイロ

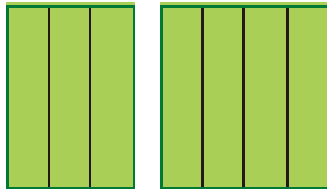
### 【畳の敷き方】

- 畳の角と角が合わさらないようにする「祝儀敷き」
- 2枚以上の畳を平行に並べる「不祝儀敷き」



6畳

8畳

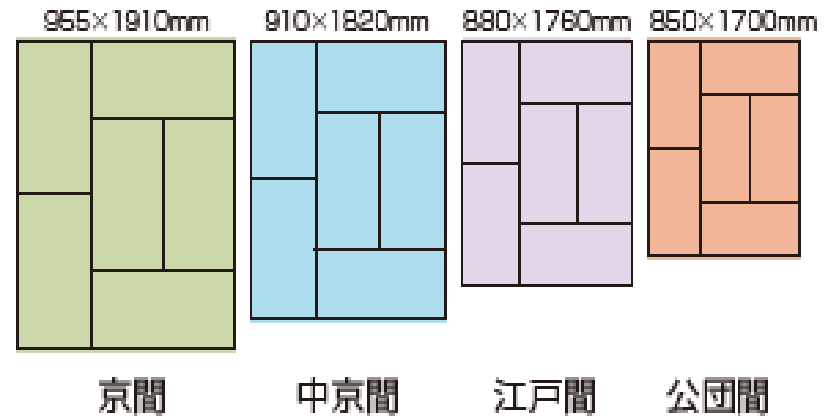


1本の畳に使用されるイグサの本数は3000~7000本です。本数が多いほど、良い畳といわれている。

### 【畳のサイズ】

一般的に畳の大きさは90.9cm×181.8cmだが、地域によって大きさが異なる。

畳の語源は「たたむ」とされています。





## 参考資料・URL

- ・ 千葉県畳業組合連合会 「畳の歴史」  
[http://chibaken-tatami-kumiai.org/tatami\\_rekisi.htm](http://chibaken-tatami-kumiai.org/tatami_rekisi.htm)